

房総花嫁街道山行報告

(山 域) 房総半島

(コース) 花園広場(駐車場)⇒花嫁街道入口⇒第2展望台⇒経文石⇒じがい水⇒第3展望台⇒
鳥場山⇒(花婿コース)見晴台⇒金比羅山⇒黒滝⇒花園広場

(日 時) 平成29年1月7日 (土)

(天 候) 晴天

(参加者) CL: 田中、会計: 吉瀬、記録1: 村尾(車)、記録2: 滝本(記録)

(山行タイム)

五井駅(吉瀬、滝本ピックアップ) 6:10⇒田中ピックアップ⇒館山(富津館山道路)⇒和田浦駅⇒
花園広場(駐車場) 8:00⇒花嫁街道入口 8:10⇒第2展望台 8:45⇒経文石 9:00⇒
じがい水 9:10⇒見晴台 9:40⇒鳥場山 10:15⇒(花婿コース)見晴台 10:55⇒金比羅山 10:28⇒
黒滝 11:38⇒花園広場 11:50⇒レストラン和田浜(昼食)⇒往路を戻る

(山行報告)

花嫁街道の由来は、山間にある上三原、五十蔵の集落と海辺の集落との交流道で、古くは塩汲みの道から生活物資の往来、学校への通学路として利用され、かつては花嫁行列もここを歩いて嫁いでいったことから、近年ハイキングコースとして整備され花嫁街道と呼ばれるようになったそうです。

出発は、花嫁街道入口から少し入った花園広場ですが、道幅が非常に狭くて車のすれ違いが非常に困難で運転には要注意箇所です。



車を公園横のスペースに停めて楯の横で身支度を整えます。

朝からいい天気ですが冷え込みが厳しかったのと傾斜が緩やかであまり汗もかかないのでやや着ぶくれ状態で出発しました。

最初は花嫁街道の入口まで戻ってから登って行きます。第1展望台は展望が良くないのでパスして次の第2展望台まで進んで休憩しました。

経文石、ジガイ水の標識がありますが、何の説明もないため通り過ぎます。経文石は岩の下側に経文が書かれていたそうですが今は風化して何も見えないそうです。この辺りはマテバシイの樹木が多くありますが、マテバシイはサバ節製造の燃料や海苔の養殖用に植えられて、その後放置された結果のようです。この頃になってやっと体が温まってきてアウターを脱ぎました。



見晴台は展望が良く、ベンチもあるのでここで休憩。この後の第3展望台では遠くに富士山も見えました。この後、鳥場山頂に到着。縁結びの花嫁の石像おふくに、ちば山の独身男性・女性の縁を祈願。



この鳥場山は 256m の低い山ですが、登山家の岩崎元郎が、中高年が登り易い山という点を加味して選定した新日本百名山のひとつで、日本百名山が 52 山含まれています。新日本百名山の中では一番低い山のようにです。

鳥場山からの下りは花婿コースとなります。見晴台、金比羅山を經由して黒滝に着きます。黒滝から川沿いに飛び石伝いに歩くと出発した、花園広場に到着です。



下山後は和田浦駅の道の駅にあるレストラン和田浜で食事をして岐路に着きました。



登山道はよく整備されており、標識も至る所にあるので迷うようなことはありませんが、作業用の道もあるので先頭の方は足元だけでなく先もしっかりと見る必要が有ります。また、木の根が出ているところが有るので、雨の後は滑らないように注意が必要です。

晴天で風もありませんでしたが、ほとんど樹林帯の中で日が差さず、急登もなくて体力はあまり使わなかったのが汗をかくこともありませんでした。

たまにはこんなのんびりした山行もいいですね。



第3展望台 鳥場山 (256m)

見晴台

花婿コース

花嫁街道

じがい水

見晴台

経文石

金比羅山

第2展望台

黒滝

はなその広場
駐車場・トイレ

花嫁街道入口

和田町柴

和田町花園

レストラン和田浜

和田町仁我浦